

安全・安心のまちづくり

安全・安心のまちづくり実践講座（キャリアデザイン・ゼミナール B07、住環境学フィールド演習 V）

◆目的・概要

地域との連携を取りながら、大学周辺の生活環境の現状を防犯・防災の面から把握し、地域の生活安全や生活環境整備に携わる関連諸機関と連携を取りながら環境改善を考えることで、地域への貢献、環境整備活動に役立つ能力を養成することを目的としています。本年度は犯罪抑止の観点から夜間街路を見直すことを課題としました。

大学や下宿の周辺などで、犯罪や事故が発生しそうな場所をピックアップし、その現状と理由について検討し、マップ上に示した上で発表しました。また、警察に資料を提供していただき、実際の奈良市内の犯罪発生場所とも比較を行いました。さらに、大学周辺の4つの通りを取り上げ、夜間の明るさ調査（照度測定）をしました。ゲストスピーカーを招いて研究会と調査の発表会を行い、そこでの助言を受けて、大学周辺の安全や夜間照明について考察、提案を行いました。

◆スケジュール

日程	内容
4月	ガイダンス
5月	課題説明、大学・下宿周辺の危険箇所調査
6月	成果発表、危険箇所マップ作成
7月	夜間照明調査、研究会、成果発表会
8月	最終レポート提出

◆取組成果

危険箇所マップ作成では、各自が感じる危険と実際の犯罪や事故の発生との関連を知ることができ、街路環境を考えていく上での重要な手がかりとなりました。このマップを基にした、夜間の明るさ調査では、人通りが少ない箇所や、夜間暗い箇所が多いことや、防犯灯、街路灯など、デザイン、種類に統一性がないことがわかりました。明るさのギャップがあるところ（急に暗くなるなど）で犯罪が発生しやすいため、学生からは、各家が門灯を点灯し、防犯に対する意識を高める必要性が提案されましたが、低い照度でも、明るさのむらが少ない環境を作ることも重要だとのアドバイスもいただきました。

◆今後に向けて

継続して調査することで、危険箇所マップや夜間の明るさマップを面的に拡充することができます。また、次の段階としては、得られた調査情報を如何にして地域に伝えれば良いのか、解決策実現に向けての具体的な方策は何かを考え、提言していくことです。

来年度は、盗難防止のための自転車用かごネットの普及策を検討し、提案します。本講座では、いろいろな角度から安全・安心のまちづくりを考えていきます。

◆関連科目

建築一般構造学、建築設備学Ⅰ、建築計画学、都市計画学Ⅰ



危険箇所マップ



研究会の様子



発表会の様子